

▽▲海員春闘▲▽ 大衆討議 現場組合員の声を集約

★★北海道管内★★ 大衆討議期間 1月5日～2月15日まで★

組合員と家族の生活防衛を優先

北海道地方支部管内では大衆討議期間に、北海道地方支部・道北支部・道東支部・道南支部の執行部と職場委員が、担当する現場組合員へ今年度労働協約改定要求案について説明し、春闘要求に対する意見集約を行った

各現場では、組合から、基本給の改定をはじめとする各要求項目について説明し、現場組合員からはさまざまな意見が出された。

主な意見
ベースアップを少しでも多く勝ち取ってほしい。交渉では、賃金カーブを維持することも考慮してほしい。家族手当の改善も今後視野に入れてほしい
物価高騰に対応するために今年度も基本給の改定に力を入れて交渉してほしい。応援しています
ベースアップを実施しないと、生活への影響が心配だ。若手乗組員が将来に希望を持って働けるように、交渉を頑張してほしい
生活水準を維持するためにもベースアップを勝ち取っていただけたらうれしい。コロナ禍以前と比べて作業内容も変わってきている。ベースアップをはじめとする賃金改善に期待している
物価高対策として賃上げが必要
基本給は2年分改定してほしい
上位職の職責に見合う手当の新設を求める
最低賃金アップ額以上の賃上げが望ましい
職別基本給の改定
乗組員確保のための定年年齢引き上げ
定年後のベースアップならびに経験加給の実施
物価高騰に伴う船内食料の質と量の確保を求める
定年退職年齢の明確化
コロナ禍も収束し、ベースアップは確実な実施を頑張ってもらいたい
諸手当改定は船長、機関長の職務評価について船舶の運航を踏まえ改定を願う
物価上昇は続いており食料金の改定は中央の改定内容を踏まえ改定を願う
コロナ禍の4年間、現場は会社に協力し耐えたが現状のままでは厳しい
観光復活を反映させ、交渉を頑張してほしい
コロナ禍も明けたので、乗組員の採用促進を強く求めてほしい
歩合制度で長年、賃金改定がされていない実態があるが、物価高騰、若年船員の確保のためには、賃金改善が必要不可欠である
物価高に賃金の改善が追いついておらず、実質賃金が目減りしている状況から、昨年以上のベースアップを期待している
コロナ禍で厳しい状況が続いていたが、インバウンドを含め、かなり回復した実感があることから、ベースアップを期待している

「海員だより」